

去年の記録を抜きました

今年の桐生市は、酷暑日連続日数、夏日日数共に日本記録を更新しました。それがようやく落ち着いた10月8日、桐生支部会員とその家族総勢13名で吾妻山健康ハイキングを行いました。暑くもなく、寒くもなく、絶好のハイキング日和でした。参加者は、何回も登ったことのある人、初めての人、年齢も小学生から後期高齢者と幅広いものでした。9時半過ぎに吾妻公園駐車場を出発しました。

途中、トンビ岩で小休止。ここで、同行者は11名になりました。道は、石ころだらけ、かなりの勾配でした。おしゃべりをしながら、かなりゆっくりのペースで、途中休み休み、無事頂上に到着できました。なんと、到着したのは10時半でした。昨年登った人たちは、今年の方が速かったと驚いていました。

頂上から、桐生の街の様子が見えました。群馬大学は、木に隠れ、見えませんでした。しばらく頂上からの景観を楽しみ、いただいたパンをほおばり、集合写真を撮ろうとしていると、登ってきたばかりの女性が撮りましょうかと声をかけて下さいました。

頂上で私たちの集合写真を撮って下さった女性は、19分で駐車場から頂上に着いたとのことでした。もっと速い方もいらっしゃるとかで、別世界のここのように聞こえました。下山にかかる時間は12分とか、転がり落ちてても、もっと時間がかかるような気がしました。速い方はもっと速いとか、12月には吾妻山登山競走が開かれるそうです。

下山途中、登ってくる先ほどの女性にまた会いました。今日は2本目です、とのことでした。私たちより年配と思われる男性が、私たちが抜いて下山していらっしゃいましたが、とにかく速い一言です。

下山途中、鹿のフンがあちこちにあるを見つけました。また、タマゴタケというキノコも見ました。真っ赤で、毒キノコと勘違いされるそうです。でも、自信のないキノコには手を出さないのが鉄則です。

筆者は50年以上前に研究室の歓迎ハイイクで、梅田までバスで行き、鳴神山に登り、尾根を縦走したのち吾妻公園から吾妻山に登ろうとしたことがあります。トンビ岩までは、先輩方、同級生と一緒に行ったのですが、トンビ岩で山頂に行くのを断念、みんなが戻ってくるのを待っていた苦い記憶がありました。今回は、何とか登りきることができました。50年ぶりに登頂でき、達成感でいっぱいです。

幹事を引き受けてくださった諏訪さんは、酷暑日の9月の日中、下見をしてくださったとか、ありがとうございました。

